

2023年10月8日（日） 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

[OS] 開会式

9:30～9:45 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

[OS] 開会式

[CL] 大会会長講演

9:45～10:30 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

[CL01] 多様性に寄り添い、個別最適な支援を行うためのワーキングメモリ理論
○湯澤 正通
(広島大学)

[CS] 大会企画シンポジウム1

11:00～13:00 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

[CS01] 多様性に寄り添う個別最適な学びに係る広島県の教育改革
企画者・指定討論者：竹野 政彦¹
司会者：平川 真衣²
話題提供者：村田 耕一²、吉永 純子²、渡邊 美佳³
(1. 東広島市立入野小学校、2. 広島県教育委員会義務教育指導課、3. 広島県教育委員会個別最適な学び担当)

[CS] 大会企画シンポジウム2

13:50～15:50 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

[CS02] 生徒の社会的トラブル危機支援と多職種連携によるトラブルシューター（TS）教育ネットワーク
全国および広島TSでの取り組み
司会者・企画者：堀江 まゆみ^{1,8}
企画者：橘 恵⁹
話題提供者：春木 美紀^{2,6}、赤塚 めぐみ^{3,6}、伊藤 竜也^{4,7}
指定討論者：石坂 務⁵
(1. 白梅学園大学、2. 埼玉県立入間わかかさ高等特別支援学校、3. 常葉大学保育学部、4. 廿日市市社会福祉協議会、5. 国立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部、6. 全国トラブルシューター教育ネットワーク、7. 広島県廿日市トラブルシューターネットワーク、8. 全国トラブルシューターネットワーク、9. 広島学びのサポートセンター)

[CS] 大会企画シンポジウム3

16:15～18:15 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

[CS03] 生徒の多様性に寄り添う心理臨床技法：広島の実践

企画者・話題提供者：則武 良英¹

話題提供者：尾形 明子²、神原 広平³

指定討論者：野口 晃菜⁴

司会者：河原 麻子⁵

（1. 川崎医療福祉大学、2. 広島大学大学院、3. 同志社大学、4. 一般社団法人UNIVA、5. 国立特別支援教育総合研究所）

2023年10月8日（日） 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

[SL] 特別講演

11:00～12:30 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

[SL01] 学習困難な子どもたちのワーキングメモリー

Working Memory in Children with Learning Difficulties

司会者・企画者：川合 紀宗¹

講師：Gray Shelley²

（1. 広島大学、2. Arizona State University）

[CP] 学会企画シンポジウム

12:55～14:25 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

[CP01] 「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」から考える将来へのロードマップ

一発達障害教育・支援の専門性をどう確保するかー

司会者：涌井 恵¹、高橋 知音²

話題提供者：上野 一彦^{3,4}、宮本 信也⁵、堀川 淳子⁶、川合 紀宗⁷

指定討論者：海津 亜希子⁸

（1. 白百合女子大学、2. 信州大学、3. 東京学芸大学、4. 学校法人旭出学園、5. 筑波総合クリニック、6. 広島市教育委員会、7. 広島大学、8. 明治学院大学）

[CP] 国際委員会企画海外講演

14:50～16:20 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

[CP02] Two Future Challenges for Learning Disability Research

学習障害研究における今後の二つの課題

司会者：是永 かな子¹

企画者：日本LD学会 国際委員会²

講師：Mikko Aro^{3,5}、Tuija Aro^{4,5}

(1. 高知大学教職大学院、2. 日本LD学会国際委員会、3. Department of Education, University of Jyväskylä, Finland、4. Department of Psychology, University of Jyväskylä, Finland、5. Centre of Excellence in Learning Dynamics and Intervention Research (InterLearn), University of Jyväskylä and University of Turku, Finland)

[CP] 全国LD親の会企画シンポジウム

16:45～18:15 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

[CP03] ICTを活用した個別最適化された学び

GIGA端末活用の取り組み

企画者：井上 育世¹

司会者：多久島 睦美¹

話題提供者：栗野 健一¹、澤 勝也²

指定討論者：近藤 武夫³

(1. NPO法人全国LD親の会、2. 鳥取県教育委員会、3. 東京大学先端科学技術研究センター)

2023年10月8日（日） 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

[J] 自主シンポジウム01（実行委員会選抜）

11:00～12:30 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

[J01] 学びにくさのある子への遠隔学習支援を可能にするICT活用

～デジタルコンテンツの活用と日常的な共有をベースに、途切れることのない学びを支える～

企画者、話題提供者：井上 賞子¹

話題提供者：伊藤 陽子⁴、中村 孝一⁵

司会者：吉野 晃子²

指定討論者：齋藤 大地³

(1. 安来市立荒島小学校、2. 松江市立乃木小学校、3. 宇都宮大学、4. 仙台市立八乙女中学校、5. NPO法人eboard)

[J] 自主シンポジウム02（実行委員会選抜）

12:55～14:25 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

[J02] 発達や愛着に課題のある子どもたちへの理解と支援

教室マルチリートメントの視点から

企画者、司会者、話題提供者：松久 眞実¹

話題提供者：川上 康則²、堤 信之³

指定討論者：阿部 利彦⁴

(1. 桃山学院教育大学、2. 杉並区立済美養護学校、3. 広島市立尾長小学校、4. 星槎大学大学院)

[J] 自主シンポジウム03（実行委員会選抜）

14:50～16:20 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

- [J03] 学習障害児への学校の校内支援体制はどう整備されたか
公立中学校と私立高校の事例から
企画者：菊田 史子¹
司会者：坂井 聡²
話題提供者：星野 友則³、黒澤 勝⁴、菊田 有祐⁵
指定討論者：河野 俊寛^{6,1}
(1. 一般社団法人読み書き配慮、2. 香川大学、3. 慶應義塾高等学校、4. 新宿区立落合第二中学校、5. 慶應義塾大学環境情報学部、6. 北陸大学)

[J] 自主シンポジウム04（実行委員会選抜）

16:45～18:15 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

- [J04] 「トライアングルプロジェクト」5年目を迎えた成果と課題
小野市「トライアングルプロジェクト」の歩みと今後の方向性
企画者、司会者：小林 祐子¹
話題提供者：岩佐 直彦²、山中 宏之²、西村 奈保子³、吉田 和弘⁴
指定討論者：中尾 繁樹⁵
(1. 小野市発達支援室、2. 小野市立小野特別支援学校、3. 小野市立河合小学校、4. こどもプラス小野、5. 関西国際大学)

2023年10月8日（日） 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

[J] 自主シンポジウム05

11:00～12:30 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

- [J05] 高等学校における特別支援教育の施策展開Ⅱ
通級による指導を通常の学級における指導・支援に広げる
企画者、司会者：井上 秀和¹
話題提供者：熊本 靖²、甲斐 綾子³、後藤 理絵⁴
指定討論者：笹森 洋樹⁵
(1. 国立特別支援教育総合研究所、2. 公立高等学校（定時制普通科）、3. 公立高等学校（全日制普通科）、4. 公立高等学校（全日制職業学科）、5. 常葉大学)

【J】 自主シンポジウム06

12:55～14:25 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

- [J06] ギフテッドの理解と援助のこれから
企画者、司会者、話題提供者：片桐 正敏¹
話題提供者：小泉 雅彦²、室橋 春光³
(1. 北海道教育大学旭川校、2. ギフ寺、3. 北海道大学)

【J】 自主シンポジウム07

14:50～16:20 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

- [J07] 算数障害が日常生活・社会生活に及ぼす影響
—実は、授業以外でも困っています—
企画者、司会者、話題提供者：藤岡 徹¹
話題提供者：伊藤 一美²、黄 淵熙³
指定討論者：河村 暁⁴
(1. 福井大学教育学部、2. 星槎大学大学院教育学研究科、3. 東北福祉大学教育学部、4. 福岡教育大学教育学部)

【J】 自主シンポジウム08

16:45～18:15 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

- [J08] 子どもの学びを支える学級づくりの在り方
～通常の学級において個別最適な学びを実現するために～
企画者、司会者：上條 大志¹
話題提供者：片岡 寛仁²、菊池 哲平³、阿部 利彦⁴
指定討論者：田中 裕一⁵
(1. 小田原市教育委員会、2. 小田原市立酒匂小学校、3. 熊本大学大学院教育学研究科、4. 星槎大学大学院教育実践研究科、5. 兵庫県立山の学校)

2023年10月8日（日） 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

【J】 自主シンポジウム09

11:00～12:30 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

- [J09] 生徒が生きる高校通級を目指して
兵庫モデルの挑戦
企画者、司会者、話題提供者：鳥居 深雪¹
話題提供者：赤井 育代²、白井 俊介³、石川 照子⁴
指定討論者：田中 裕一⁵
(1. 関西国際大学、2. 兵庫県教育委員会、3. 兵庫県立西宮香風高等学校、4. 三重大学、5. 兵庫県立山の学校)

[J] 自主シンポジウム10

12:55～14:25 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

[J10] CLM方式による発達支援と親支援

—幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を育む保育—

企画者、司会者：酒井 晃子¹

話題提供者：岸本 優子²、大河内 友紀³、高山 恵子⁴

指定討論者：中村 みゆき¹

（1. NPO法人ライフ・ステージ・サポートみえ、2. 三重県いなべ市社会福祉協議会療育支援事業係、
3. 三重県亀山市子ども未来課子ども支援グループ、4. NPO法人えじそんくらぶ）

[J] 自主シンポジウム11

14:50～16:20 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

[J11] 幼児期から学童期を繋ぐ個別の指導計画の在り方

～保幼小の実態把握チェックリストをもとに～

企画者：村田 健治¹

司会者：中尾 繁樹²

話題提供者：大本 綾子³、前田 高志⁴、畑本 駿平⁵

指定討論者：花熊 暁²

（1. 奈良佐保短期大学、2. 関西国際大学、3. 認定こども園 関西国際大学附属 難波愛の園幼稚園、4. 生駒市立小平尾保育園、5. 神戸市立井吹西小学校）

[J] 自主シンポジウム12

16:45～18:15 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

[J12] スクールワイドPBSの実装の障壁を乗り越える（1）

第1層支援の「探索段階」と「導入段階」における障壁

企画者、司会者：半田 健¹

企画者、話題提供者：若林 上総¹

話題提供者：庭山 和貴²

指定討論者：宮木 秀雄³

（1. 宮崎大学、2. 大阪教育大学、3. 山口大学）

2023年10月8日（日） 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

[J] 自主シンポジウム13

11:00～12:30 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

[J13] 読み書きに困難のある子どもへのICTを活用した学習プログラムの開発と実践

「KIKUTA プログラム」とその効果

企画者、司会者、話題提供者：河野 俊寛¹

話題提供者：石崎 江衣子²、菊田 史子²

指定討論者：坂井 聡³

（1. 北陸大学、2. 一般社団法人読み書き配慮、3. 香川大学）

[J] 自主シンポジウム14

12:55～14:25 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

[J14] 小中学校における合理的配慮としてのICTの導入過程

組織的・継続的なAT活用のための査定から指導まで

企画者、話題提供者：山下 祥代¹

企画者、司会者：氏間 和仁¹

話題提供者：池田 静香²、沖見 洋二²、岩本 晶子³

指定討論者：村上 大樹⁴、辻 佑子¹

（1. 広島大学、2. 東広島市立寺西小学校、3. 東広島市立磯松中学校、4. 広島県立福山特別支援学校）

[J] 自主シンポジウム15

14:50～16:20 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

[J15] 読みに困難のある児童生徒に対する学校図書館での支援

一読書バリアフリーをめざした取組を通して一

企画者：今枝 史雄¹

司会者：福井 喜章²

話題提供者：金森 裕治³、武田 光二⁴、今枝 史雄¹、福井 喜章²

指定討論者：中野 泰志⁵

（1. 大阪教育大学、2. 大阪府立八尾支援学校、3. 元大阪教育大学、4. 富田林市立葛城中学校、5. 慶應義塾大学）

[J] 自主シンポジウム16

16:45～18:15 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

[J16] 発達障害のある子どもたちのリラクゼーションを促す活動の取り組みと今後の展望（2）

企画者、司会者：高橋 真琴¹

話題提供者：亀井 有美³、山崎 真義^{2,6}、尾関 美和⁴

指定討論者：牛込 彰彦⁵

（1. 鳴門教育大学、2. 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科、3. 徳島大学大学院保健科学研究科、4. 鳴門教育大学附属特別支援学校、5. 帝京平成大学、6. 滋賀県立八日市養護学校）

2023年10月8日（日） 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J] 自主シンポジウム17

11:00～12:30 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J17] ICF（国際生活機能分類）から通常学級での合理的配慮の提供を考える（第3報）

—「ICF関連図ワークシート」および活用のための説明スライドの改善—

企画者、司会者：佐藤 晋治¹

話題提供者：阿部 敬信²、後藤 みゆき³

指定討論者：堺 裕⁴

（1. 大分大学教職大学院、2. 九州産業大学、3. 大分県教育センター、4. 帝京大学）

[J] 自主シンポジウム18

12:55～14:25 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J18] 場面緘黙におけるエビデンスの現状と臨床への接続

企画者、司会者、話題提供者：辻田 那月¹

話題提供者：飯村 大智²、山中 智央^{3,4}

指定討論者：萩原 広道⁵

（1. 大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構、2. 筑波大学人間系、3. 島根大学学術研究院教育研究推進学系、4. 鳥取大学大学院医学系研究科、5. 大阪大学大学院人間科学研究科）

[J] 自主シンポジウム19

14:50～16:20 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J19] 「インクルーシブに向かう保育・教育のパラダイムとは」

～私たちの実践はどこに向かっているのか～

企画者、話題提供者：服部 健治¹

司会者：佐々木 恵²

話題提供者：小林 麻如¹、肥後 祥治³

指定討論者：二宮 信一⁴

（1. 釧路短期大学、2. 下関市立檜崎小学校、3. 鹿児島大学、4. 天使大学）

[J] 自主シンポジウム20

16:45～18:15 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

- [J20] 思春期・青年期を対象とした話し合い活動中心のソーシャルスキル・トレーニング
話し合い活動を入れる意義とは
企画者、話題提供者：坂内 仁¹
司会者：熊谷 恵子²
指定討論者：熊上 崇³
話題提供者：飯塚 朱里⁴、莊司 さやか⁵
(1. 北海道教育委員会、2. 筑波大学心理・発達教育相談室／筑波大学人間系、3. 和光大学現代人間学部、
4. 筑波大学大学院／筑波大学心理・発達教育相談室、5. 森山脳神経センター病院／筑波大学心理・発達
教育相談室)

2023年10月8日（日） 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

[J] 自主シンポジウム21

11:00～12:30 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

- [J21] 学習に関する適切な合理的配慮を決定するプロセスに関する検討
学外の非医療系支援者の視点から
企画者、話題提供者：小川 詩乃¹、明石 法子^{2,3}
司会者：吉田 優英²
指定討論者：福庭 由也⁴
(1. 学習支援団体、2. 発達性ディスレクシア支援団体、3. 愛知淑徳大学、4. 公立小学校)

[J] 自主シンポジウム22

12:55～14:25 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

- [J22] 読み書き困難を示す子どもへの「ひらがな・カタカナ」学習支援方法の検討(2)
企画者、司会者：堀部 要子¹、
話題提供者：畑瀬 陸²、福元 理英³、東俣 淳子⁴
指定討論者：樋口 和彦⁵
(1. 名古屋女子大学文学部、2. 広島市立広島特別支援学校、3. 日本福祉大学心理臨床研究センター、4.
豊田市こども発達センター、5. 広島修道大学人文学部)

[J] 自主シンポジウム23

14:50～16:20 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

- [J23] 発達障害児者の「生きがい」を支えるとは
企画者、話題提供者：三浦 巧也¹
司会者、指定討論者：橋本 創一⁴
話題提供者：石津 憲一郎²、砂川 芽吹³
(1. 東京農工大学、2. 富山大学、3. お茶の水女子大学、4. 東京学芸大学)

[J] 自主シンポジウム24

16:45～18:15 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

- [J24] 発達障害学生支援のための専門人材養成プログラムの在り方を考える
企画者、話題提供者：中野 泰伺¹
司会者：脇 貴典¹
話題提供者：諏訪 絵里子²、辻井 美帆³
指定討論者：高橋 知音⁴
(1. 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局、2. 目白大学 心理学部、3. 京都大学DRC（学生総合支援機構 障害学生支援部門）、4. 信州大学 学術研究院教育学系)

2023年10月8日（日） 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

[J] 自主シンポジウム25

11:00～12:30 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

- [J25] ASD児でみられたメディアからの言語習得
英語使用が優位となった事例
企画者、話題提供者、指定討論者：松本 敏治¹
司会者：野内 友規²
話題提供者：岡田 朋子³、橋本 洋輔⁴
(1. 教育心理支援教室・研究所 ガジュマルつがる、2. 聖霊女子短期大学、3. 名古屋経済大学、4. 国際教養大学)

[J] 自主シンポジウム26

12:55～14:25 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

- [J26] 発達障害児への効果的な支援は『本人参加型ケース会議』から
～自己理解・自己決定を進め、自分に合った支援を受けるために～
企画者、司会者：冢田 三枝子¹
話題提供者：大山 美香²、松元 ゆき³、伊東 邦将³
指定討論者：安藤 壽子⁴
(1. 横浜高等教育専門学校、2. 横浜市立さちが丘小学校、3. 横浜市立仏向小学校、4. S. E. N. S. 神奈川支部の会)

[J] 自主シンポジウム27

[J27] 発表取り下げ

[J] 自主シンポジウム28

16:45～18:15 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

[J28] 私学における特別支援教育⑥

—全教職員で進める支援の充実—

企画者、司会者：一ノ瀬 秀司¹

話題提供者：小島 康二郎^{5,4}、飯田 亜佳^{5,4}、鈴木 雅子³

指定討論者：高橋 あつ子²

（1. 大妻中学高等学校、2. 早稲田大学大学院、3. 横浜女学院中学高等学校、4. 明治学院東村山高等学校、
5. 明治学院中学校）

2023年10月8日（日）～10月9日（月） 第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP] 広報委員会 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP01] 「LD学会員がより繋がり合えるために」 広報委員会による取り組み

～会報のWEB化・ホームページのリニューアル・SNS発信～

岡野 由美子、菊池 哲平、増本 利信

（広報委員会）

[CPP] 全国LD親の会企画 ポスター展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP02] 各地の親の会 活動紹介

理解啓発活動・子どもたちや家族への支援活動

○井上 育世

（NPO法人全国LD親の会）

[CPP] LD-SKAIP委員会 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP03] LD-SKAIP委員会 活動報告

[CPP] 国立特別支援教育総合研究所 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP04] 国立特別支援教育総合研究所 活動報告

[CPP] 2023ディスレクシア啓発月間実行委員会 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP05] 2023ディスレクシア啓発月間実行委員会 展示

2023年10月8日（日） 第11会場（広島国際会議場 ラン2）

[CP] 国際委員会企画ラウンドテーブル

16:45～18:15 第11会場（広島国際会議場 ラン2）

[CP04] 国際委員会企画ラウンドテーブル

司会者：是永 かな子¹

企画者：日本LD学会 国際委員会²

講師：Mikko Aro^{3,4}

(1. 高知大学教職大学院、2. 日本LD学会国際委員会、3. Department of Education, University of Jyväskylä, Finland、4. Centre of Excellence in Learning Dynamics and Intervention Research (InterLearn), University of Jyväskylä and University of Turku, Finland)

2023年10月8日（日） ポスター会場

[P] ポスター発表 P01：アセスメント

11:00～11:30 ポスター会場

[P01-1] タブレット版発達スクリーニング検査の開発

絵の指さし課題の作成

○清水 里美¹、米澤 朋子²

(1. 平安女学院大学、2. 関西大学総合情報学部)

[P01-2] VSIの下位検査間で差が見られた児童のWISC-Vのプロフィールについて

○佐藤 匠

(島田療育センターはちおうじ)

[P01-3] ギフテッド応援隊が提供しているサポートブックの評価と有効性調査

保護者へのアンケート調査から分かったこと

○音光 裕美¹、佐伯 裕美¹、樋口 優子¹、日高 茂暢²

(1. 一般社団法人ギフテッド応援隊、2. 佐賀大学教育学部)

- [P01-4] 自閉スペクトラム症のある子どもの感覚面のアセスメントと動作法の活用
○山崎 真義^{1,3}、田中 淳一²、高橋 真琴²
(1. 滋賀県立八日市養護学校、2. 鳴門教育大学、3. 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)
- [P01-5] 子どもの認知機能評価に基づいた生活機能の獲得方法を助言するクラウドサービス
発達分野の作業療法士のノウハウとデジタル認知テストの組み合わせ
○五藤 博義¹、小玉 武志²
(1. レデックス株式会社、2. 北海道済生会みどりの里)
- [P01-6] 小学校通常学級担任教師へのコンサルテーションにおける「学級支援尺度」の活用効果
○関原 真紀、加藤 哲文
(上越教育大学)
- [P01-7] 5・6歳児における音韻認識の発達とワーキングメモリ
○津島 靖子¹、荻野 竜也²、真田 敏³
(1. 就実大学教育学部、2. 福山市保健福祉局保健部こども発達支援センター、3. 広島県立福山若草園)
- [P01-8] 日本版DN-CAS得点のk-means法クラスタリングによる得点分布の検討
○奥畑 志帆¹、石原 章子²、岡崎 慎治²
(1. 佛教大学、2. 筑波大学 人間系)

[P] ポスター発表 P02：読む・書く1

11:50～12:20 ポスター会場

- [P02-1] 書き困難のある子供のICTを活用したノートテイキングトレーニングの実践
小学6年生の児童の取り組みから
○山下 祥代
(広島大学)
- [P02-2] 重複障害（知的、自閉、弱視）のQOL向上を目指すITを活用した指導法の研究
在留邦人を親に持つ重複障害者の指導法の研究
○村山 慎二郎¹、原田 浩司^{1,2}、坂尻 正次²、大西 淳児²
(1. 宇都宮LDサポートセンター、2. 筑波技術大学)
- [P02-3] 通常学級5年生児童の漢字誤り分析Ⅱ
漢字のつまずきに対応したアセスメント法の開発
○村井 敏宏¹、榎本 はる²
(1. 学校法人青丹学園フラーテルL. C.、2. 公立小学校)

- [P02-4] 読み書き困難児に対する触力覚誘導提示装置による漢字指導の効果（第三報）
～筆順誘導時のマルチモーダル提示の効果～
○原田 浩司^{1,2}、坂井 忠裕¹、齋藤 恵美子²、坂尻 正次¹、大西 淳児¹
（1. 筑波技術大学、2. 宇都宮LDサポートセンター）
- [P02-5] 漢字書字の習得に困難がある児童に対するアプリ教材の効果について
～同時処理が有意に高い2症例への実践～
○大西 正二^{1,2}、熊谷 恵子³
（1. 横浜市総合リハビリテーションセンター、2. 筑波大学心理・発達教育相談室、3. 筑波大学人間系）
- [P02-6] 書字に困難さのある自閉スペクトラム症児に対する自己調整方略学習モデル（SRSDモデル）
を用いた感想文の個別指導
○小林 美奈子¹、滝吉 美知香²
（1. 岩手大学大学院 教育学研究科 教職実践専攻、2. 岩手大学 教育学部 特別支援教育科）
- [P02-7] 通常の学級におけるビジョントレーニングの効果と課題について
～小学校教員に対するアンケート調査を通して～
○黒川 洋平¹、谷川 明香¹、今枝 史雄²
（1. 大阪府立藤井寺支援学校、2. 大阪教育大学）
- [P02-8] 施設で暮らす子どもの自己選択が学習行動に及ぼす影響について
カスタマイズ教材を用いた学習支援から
○赤塚 めぐみ¹、佐々木 留海²、後藤 隆章³、小池 敏英⁴
（1. 常葉大学、2. 児童養護施設、3. 横浜国立大学、4. 尚絅学院大学）
- [P02-9] 読み困難を示すLD児における単語共起性が漢字読みに与える影響
社会科教科書の単語に基づく検討
○後藤 隆章¹、中 知華穂²、田丸 裕理³、赤塚 めぐみ⁴
（1. 横浜国立大学教育学部、2. 横浜国立大学D&I教育研究実践センター、3. 横浜国立大学教職大学院、
4. 常葉大学保育学部）

[P] ポスター発表 P03：読む・書く2

12:40～13:10 ポスター会場

- [P03-1] 1年生12月時点の直音・単音音読成績の予測精度に関する研究
就学前2月および就学後7月からの検討
○蔦森 英史
（北海道教育大学）

- [P03-2] 漢字学習低成績児童における書字課題の無答状態の生起背景
小学校6年生を対象とした検討
○田丸 裕理¹、後藤 隆章²、小池 敏英³
(1. 横浜国立大学教職大学院、2. 横浜国立大学、3. 尚絅学院大学)
- [P03-3] Rey-Osterrieth複雑図形検査による小・中学生漢字書字困難児の視覚認知の特徴の検討
—Boston Qualitative Scoring Systemを用いて—
○柳内 景太¹、単 炳鋒¹、関 あゆみ²
(1. 北海道大学大学院教育学院、2. 北海道大学大学院教育学研究院)
- [P03-4] 小学生の英単語読み習得に影響をおよぼす予測因子に関する後方視的検討
低学年における認知能力ならびに中学年以降のローマ字読み成績との関連
○細川 美由紀¹、室谷 直子²、井上 知洋³
(1. 茨城大学、2. 常磐短期大学、3. 香港中文大学)
- [P03-5] 高学年児童の読み書き障害傾向と不安・抑うつとの関連
○薄 洋介¹、飯田 順子²
(1. 江戸川区立大杉小学校、2. 筑波大学)
- [P03-6] 自閉症・情緒障害特別支援学級における「主体的・対話的で深い学び」を意図した物語文の心情理解の指導
—「スーホの白い馬」の実践事例を通して—
○曾谷 敦子¹、石橋 由紀子²
(1. 兵庫県公立小学校、2. 兵庫教育大学大学院学校教育研究科)
- [P03-7] 振動するペンが幼児の書字の習得に及ぼす影響
○飯塚 朱里¹、鄭 家欣¹、大西 正二²、大西 剛史³、中根 啓太³、伊神 夏帆³、熊谷 恵子⁴
(1. 筑波大学大学院人間総合科学学術院、2. 横浜市総合リハビリテーションセンター、3. 株式会社東海理化、4. 筑波大学人間系)
- [P03-8] 小児科発達外来における学習支援ルームの読み書き困難児に対する実践
—アセスメント検査の結果を基に児童の認知特性に合わせた学習支援—
○廣澤 清子、山下 純子
(小児科発達外来)
- [P03-9] 読みに困難が見られる小学1年生のひらがな拗音の読み誤りに関する検討
—単音連続読み検査を活用して—
○亀山 麻子^{1,2}、関 あゆみ³
(1. 北海道大学大学院教育学院、2. 公立小学校、3. 北海道大学大学院教育学研究院)

[P] ポスター発表 P04：聞く・話す

13:30～14:00 ポスター会場

[P04-1] 聞く話す障害の中学生LDに対する統語指導

○小田部 夏子^{1,4}、松下 明広²、塩原 亜紀²、内山 仁志³

(1. 国際医療福祉大学クリニック、2. 大田原市立若草中学校、3. 島根県立大学人間文化学部、4. 大田原市教育委員会)

[P04-2] 「聞く・話す」領域に困難を抱える児童へのナラティブを用いた言語指導

—「5枚絵指導」の活用事例—

○入山 満恵子¹、霞岡 晃世²、鈴木 由紀子³

(1. 新潟大学、2. 連雀学園三鷹市立南浦小学校、3. 文京区立金富小学校)

[P04-3] 「聞く・話す」に困難を示す外国につながる幼児への音韻分解あそびが発語に及ぼす効果

○森下 未奈子¹、飯島 知子²、後藤 隆章³、小池 敏英⁴、赤塚 めぐみ¹

(1. 常葉大学、2. 磐田市立磐田中部小学校、3. 横浜国立大学、4. 尚絅学院大学)

[P] ポスター発表 P04：計算・算数

13:30～14:00 ポスター会場

[P04-4] 算数困難児の分ける・お金の使用の課題習得の経過と暗算について

○秋元 有子¹、紺野 道子²、豊村 かなみ¹、中石 康江¹

(1. 白百合女子大学発達臨床センター、2. 東京都市大学)

[P04-5] 算数を苦手とする児童への加減算の計測と指導法改善

認知特性と誤答分析を活かした自動化への取組

○福田 宜男¹、村山 慎二郎¹、原田 浩司^{1,2}、坂尻 正次²、大西 淳児²

(1. 宇都宮LDサポートセンター、2. 筑波技術大学)

[P04-6] 運動を使ったかけ算九九指導

3名の児童の日本版感覚プロファイルの結果との関連に着目して

○池田 康子¹、熊谷 恵子²

(1. 筑波大学大学院人間総合科学学術院、2. 筑波大学人間系)

[P04-7] 小学校低学年における数感覚基数性と数的事実・計算の関連性についての検討

通常学級における簡便な算数障害の評価に向けて

○鈴木 歌音¹、藤岡 徹²、水野 賀史³、宮本 信也⁴

(1. 白百合女子大学発達臨床センター、2. 福井大学教育学部、3. 福井大学子どものこころ発達研究センター、4. 筑波大学名誉教授)

- [P04-8] 1 位数同士のかけ算の指導に関する研究
—つまずきの要因からの分析—
○伊藤 一美
(星槎大学大学院)

[P] ポスター発表 P05：英語

14:20～14:50 ポスター会場

- [P05-1] 英語の文字列の視写（模写）課題における小中学生の成績差についての検討
—英語の読み書きスクリーニング検査の結果から—
○上岡 清乃¹、鈴木 恵太²、水戸 陽子¹、石坂 郁代¹
(1. 北里大学医療衛生学部、2. 岩手大学教育学部)
- [P05-2] 学校現場における将来の英語読み書き困難を予測する簡易アセスメント
音読課題（音読速度・音読の流暢さ）を用いて
○森 秀樹^{1,2}、関 あゆみ³
(1. 市立札幌開成中等教育学校、2. 北海道大学教育学院、3. 北海道大学大学院教育学研究院)
- [P05-3] 書字に難しさがある学習者へのアルファベット文字指導
限局性学習障害（書字障害）と診断を受けた児童の場合
○飯島 睦美
(群馬大学)

[P] ポスター発表 P05：感覚・運動（視覚、聴覚、不器用）

14:20～14:50 ポスター会場

- [P05-4] 触覚を利用した歯みがき指導について
歯みがきの苦手な発達障害児に対して触覚を用いた指導例
○錦織 亜矢
(たかはしキッズデンタル)
- [P05-5] 特別支援学級における作業療法士と連携した運動指導実践による一事例の変化
○清水 夕貴¹、池田 千紗²
(1. 北海道教育大学大学院、2. 北海道教育大学札幌校)
- [P05-6] 宮原資英の短期連載「アダプテッド（適合）ダンスのすすめ」の資料性
—心理療法から運動学習への転換に着目して—
○清野 宏樹
(桃山学院教育大学人間教育学部)

- [P05-7] 大学生における感覚過敏特性の実態と認識
大学生活での困りと関連させて
○蒔苗 詩歌^{1,2}
(1. 北星学園大学経済学部、2. 北海道大学大学院教育学院)

[P] ポスター発表 P06：就学前の支援

15:10～15:40 ポスター会場

- [P06-1] 幼稚園における学級規模ポジティブ行動支援の実践
幼児の片付け行動に及ぼす効果
○宮木 秀雄
(山口大学)
- [P06-2] 5歳児健診時点で支援を要する子どもの学力の検討
就学前の知能発達スクリーニングの結果を用いて
○野村 昂樹¹、小野 舟瑛²
(1. 総合診療センターひなが、2. 福島学院大学 短期大学部)

[P] ポスター発表 P06：義務教育期（小・中学）の支援1

15:10～15:40 ポスター会場

- [P06-3] 知的障がい学級における「人と人」「教科・領域と生活」「行為と言葉」の3つのつながりを重視したカリキュラムの開発とその効果
○松浦 百香¹、堀部 要子²
(1. 春日井市立西山小学校、2. 名古屋女子大学)
- [P06-4] 二次障害が生じている中学生に対する支援
～通級指導の実践から～
○川合 理恵¹、山下 公司²
(1. 市立札幌大通高等学校、2. 北海道教育大学)
- [P06-5] 小中学生を対象とした小集団ソーシャルスキルトレーニング・ヨガプログラムの実践
○飯田 順子¹、太田 千端³、川崎 知己²、嶋田 あゆみ⁴
(1. 筑波大学、2. 千葉商科大学、3. 東京都練馬区学務課、4. 筑波大学心理発達教育相談室)
- [P06-6] LD児と教員の関係性の変化から生まれた学校における主体的なICT活用
LDのある中学生がiPadでの学び方を教員とともに考えるまでの約1年半の経過分析
○内田 佳那^{1,2}、丹治 敬之³
(1. 兵庫教育大学大学院連合学校、2. 日本学術振興会、3. 岡山大学学術研究院教育学域)

[P06-7] オープン型教室に着目した学習環境の検討

○岩間 叶実¹、片桐 正敏²

（1. 札幌市立手稲鉄北小学校、2. 北海道教育大学旭川校）

[P] ポスター発表 P07：義務教育期（小・中学）の支援2

16:00～16:30 ポスター会場

[P07-1] 特別支援教育の推進 教育と福祉のさらなる連携 1

—総合教育相談室の機能強化と連携支援コーディネーター設置—

○香川 稚子^{1,2}、田中 容子^{1,2}

（1. 三鷹市教育委員会、2. 教育部）

[P07-2] 海外在留邦人の特別支援教育へのニーズ

半構造化面接のためのチェックリスト作成と保護者のニーズの把握

○島田 恭仁

（関西福祉科学大学）

[P07-3] 小学校通常学級における集団随伴性を利用した授業準備行動の形成

学級経営に困難さを感じている担任による実践

○大塚 大輝

（公立小学校）

[P07-4] ADHD傾向があり異性に対する問題行動を呈した男子中学生への個別のソーシャルスキルトレーニング

友達と会話を始める及び遊びに誘うことと断られた時に対処するスキルの形成

○佐藤 亮太郎^{1,3}、YANG JING^{1,3}、熊谷 恵子^{2,3}

（1. 筑波大学人間総合科学学術院、2. 筑波大学人間系、3. 筑波大学心理・発達教育相談室）

[P07-5] 自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する児童の自己支援法の獲得と般化

—児童版ストラテジーシートの効果と指導順序の検討—

○宮崎 光明

（富山大学教育学部）

[P07-6] LDが疑われる男児の指導経過について

—DN-CASの分析から—

○後藤 紗織¹、松淵 由佳子²、芳賀 道²

（1. 清和大学短期大学部、2. NPO法人ことばのいずみ教室）

- [P07-7] コミュニケーションに課題がある生徒における療育の効果の検討
—自己調整学習者の育成に向けた言語能力の向上のための療育—
○横川 佳子、河野 さおり
(TASUC株式会社)

[P] ポスター発表 P08：義務教育修了後（高校・大学等・就労）の支援

16:50～17:20 ポスター会場

- [P08-1] 発達障害のある生徒の進路先における課題と進路先の取組Ⅰ
—適応困難度が高い学生の状況から—
○伊藤 由美、榎本 容子、小澤 至賢、相田 泰宏
(国立特別支援教育総合研究所)
- [P08-2] 障害学生支援室に併設するセンサリールームにおける環境づくりの試み
○高橋 由子¹、木下 晏里沙³、松尾 綾子⁴、松本 秀彦⁶、高橋 秀俊⁵、上野 佳奈子²
(1. 高知大学学び創造センター、2. 明治大学理工学部、3. 明治大学大学院理工学研究科、4. 明治大学研究・知財戦略機構、5. 高知大学医学部、6. 高知大学大学院総合人間自然科学研究科)
- [P08-3] 発達障害のある生徒の進路先における課題と進路先の取組Ⅱ
—適応困難度が高い社員の状況から—
○榎本 容子、伊藤 由美、小澤 至賢、相田 泰宏
(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所)
- [P08-4] 小・中学校と連携した高等学校における通級指導の実践研究
○谷山 優子¹、長井 耶奈²、古田 文³
(1. 神戸女子大学、2. 兵庫県立淡路高等学校、3. 兵庫県立あわじ特別支援学校)
- [P08-5] 大学生の読み書きスキルと学修困難感および学校適応感の関連
○荻布 優子、岡野 由美子
(奈良学園大学人間教育学部)
- [P08-6] 特別な支援を必要とする大学生への課題提出の締め切り間隔とフィードバックコメントの有無による課題提出数の促進に関する研究
○佐田東 彰
(金沢学院大学教育学部)
- [P08-7] 高校通級における個のニーズに応えるグループ指導の方法の検討
障害種別の異なる2人の生徒の共育ち
○武田 博子
(相愛大学 学生相談室)

- [P08-8] 小人数ライティング授業における発達障害のある大学生への作文指導
～文章を全く書けない状態から指導を開始した学生～
○相澤 亮雄¹、松本 美佳²、森 誠子²、幸地 英理子²、坂井 伸子²、高橋 知音³
(1. 神戸大学、2. 九州産業大学、3. 信州大学)

- [P08-9] 特別な教育的ニーズがある高校生へのGame-Based Learning
ユニバーサルデザインな「地理総合」の授業づくりの実践
○後藤 美穂¹、三浦 光哉²
(1. 山形県立遊佐高等学校、2. 山形大学)

2023年10月9日（月） 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

[CS] 大会企画シンポジウム4

9:00～11:00 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

- [CS04] 広島市発 多様性に寄り添う支援の実際
—専門性でつなく 専門性を育てる—
企画者：三村 千秋¹、大本 市郎²
司会者：川合 紀宗³
話題提供者：北村 知恵子⁴、西川 美代⁵、西田 由香⁶
指定討論者：竹田 契一⁷、秋田 智佳子⁸
(1. 前広島市立牛田中学校、2. 前広島市立広島特別支援学校、3. 広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構、4. 広島市立広島特別支援学校サポートセンター、5. 広島市立広島みらい創生高等学校通級指導、6. 広島市教育委員会、7. 大阪教育大学名誉教授、8. 広島総合法律会計事務所)

[CC] 授賞式ならび閉会式

11:10～11:50 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

- [CC] 授賞式ならび閉会式

[CS] 大会企画シンポジウム5

12:10～14:10 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

- [CS05] 日本語の読み書き困難の原因、アセスメント、支援
企画者：湯澤 正通¹
司会者・企画者：河村 暁²
話題提供者：三盃 亜美³、石坂 郁代⁴、湯澤 美紀⁵
指定討論者：宇野 彰⁶
(1. 広島大学、2. 福岡教育大学、3. 筑波大学、4. 北里大学、5. ノートルダム清心女子大学、6. 元筑波大学)

[OS] 一般公開講演会

14:40～16:10 第1会場（広島国際会議場 フェニックスホール）

- [OS01] 私の社会活動
～共に育つ～
講師：有森 裕子
（元プロマラソン選手）

2023年10月9日（月） 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

[CP] 研究委員会企画シンポジウム

9:00～10:30 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

- [CP05] LD等の児童生徒に対するICT活用はGIGAスクールでどう変わってきたか
ICT利用・英語学習・合理的配慮・大学と学校の連携を軸に
司会者：入山 満恵子⁴
話題提供者：村田 美和¹、丹治 敬之³、三木 立志⁵、高橋 あゆみ⁶、千種 朋子⁷
指定討論者：近藤 武夫²
（1. 高崎健康福祉大学、2. 東京大学先端科学技術研究センター、3. 岡山大学、4. 新潟大学、5. 大阪府枚方市立磯島小学校、6. 南丹市立八木東小学校、7. 京都府総合教育センター特別支援教育部）

[CP] LD-SKAIP委員会企画シンポジウム

10:55～12:25 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

- [CP06] LD-SKAIPによる学習支援
先進事例に学ぶ地域ぐるみの取り組み
企画者：奥村 智人¹
司会者：小笠原 哲史²
話題提供者：増本 利信⁴、中村 芳美⁵、山本 貴美恵⁶
指定討論者：梅田 真理³
（1. 大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所、2. 明星大学発達支援研究センター、3. 宮城学院女子大学、4. 九州ルーテル学院大学、5. 藤枝市教育委員会、6. 名張市福祉子ども部子ども発達支援センター）

[CP] 編集委員会企画シンポジウム

12:50～14:20 第2会場（広島国際会議場 ヒマワリ）

- [CP07] LD研究の投稿に向けて
企画者・話題提供者：立脇 洋介¹
司会者：玉木 宗久²
話題提供者：後藤 隆章³、吉利 宗久⁴
（1. 九州大学、2. 国立特別支援教育総合研究所、3. 横浜国立大学、4. 岡山大学）

2023年10月9日（月） 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

[J] 自主シンポジウム29（実行委員会選抜）

9:00～10:30 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

[J29] 算数障害児のスクリーニングと支援の関連性

算数障害スクリーニング検査を利用して

企画者、司会者：熊谷 恵子¹

話題提供者：山本 ゆう²、三井 菜摘³、武重 朋子⁴

指定討論者：東原 文子⁵

（1. 筑波大学、2. 松本大学、3. アゼリア教育研究所、4. 小諸市立坂の上小学校、5. 聖徳大学）

[J] 自主シンポジウム30（実行委員会選抜）

10:55～12:25 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

[J30] 障害や家庭問題など複合的困難を抱える高校生への支援

東京都教育庁自立支援チーム派遣事業におけるユースソーシャルワーカーの支援について

企画者、指定討論者：熊上 崇¹

話題提供者：梶野 光信²、浜野 美穂³、五十嵐 潤⁴

（1. 和光大学、2. 東京都教育庁地域教育支援部主任社会教育主事、3. 東京都教育庁ユースソーシャルワーカー、4. 東京都教育庁ユースアドバイザー）

[J] 自主シンポジウム31（実行委員会選抜）

12:50～14:20 第3会場（広島国際会議場 ダリア1）

[J31] 読み書きに困難さがある子供に対するアセスメントから多職種連携のあり方を考える

企画者、司会者、話題提供者：川村 修弘¹

話題提供者：柴 玲子²、荻布 優子³

指定討論者：川崎 聡大⁴

（1. 山形大学、2. 島田療育センターはちおうじ、3. 奈良学園大学人間教育学部、4. 立命館大学産業社会学部）

2023年10月9日（月） 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

[J] 自主シンポジウム32

9:00～10:30 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

[J32] つなぐ！！ 子どもを地域で支援するための持続可能な多職種連携とは

教育、医療、保健、保育、療育、福祉のまちぐるみの連携の工夫～「チーム名張」の実践

企画者、司会者、話題提供者：小林 穂高^{1,2}

話題提供者：寺川 えり子³、山本 貴美恵⁴、森 由佳⁵、齋藤 美穂^{6,7}

指定討論者：小野 次朗^{8,9}、古川 恵美³

（1. 名張市立病院 小児科、2. 関西医科大学地域小児医療支援講座、3. 兵庫県立大学看護学部、4. 名張市福祉子ども部子ども発達支援センター、5. 社会福祉法人名張育成会 児童発達支援センターどれみ、6. 名張市教育委員会、7. 名張カウンセリングサロンゆりかご、8. 明星大学発達支援研究センター、9. 明星大学診療所）

[J] 自主シンポジウム33

10:55～12:25 第4会場（広島国際会議場 ダリア2）

[J33] 神経発達症児に対する支援者の関わりを考える

一子どもの主体性と豊かなコミュニケーションを育む関わりの再考—

企画者、司会者：松島 佳苗¹

話題提供者：加藤 寿宏¹、長岡 千賀²

指定討論者：吉川 左紀子³

（1. 関西医科大学 リハビリテーション学部、2. 追手門学院大学 経営学部、3. 京都芸術大学 芸術学部）

2023年10月9日（月） 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

[J] 自主シンポジウム34

9:00～10:30 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

[J34] 発達障害のある学生と卒業生にとっての就労

就労及び職場における合理的配慮

企画者、司会者、話題提供者：榎木 啓二¹

話題提供者：長岡 恵理²

指定討論者：高橋 知音³

（1. 早稲田大学保健センター学生相談室、2. 早稲田大学教職大学院、3. 信州大学）

[J] 自主シンポジウム35

10:55～12:25 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

[J35] 発達障害児者への必要なキャリア支援の広がり

小学校から大人まで

企画者、司会者：林原 洋二郎¹

指定討論者：梅永 雄二²

話題提供者：開田 亜矢子³、和田 充紀⁴、沢辺 優⁵、大岡 豊太郎⁵、船木 のぞみ⁶、嵐 大基⁷、櫻井 健太郎⁸

（1. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科金沢校、2. 早稲田大学教育・総合科学学術院、3. 魚津市立経田小学校、4. 富山大学教育学部、5. ヴィストカレッジ富山中央、6. ヴィストカレッジ金沢駅前、7. ヴィストカレッジ西金沢駅前、8. ヴィストジョブズ金沢入江）

【J】 自主シンポジウム36

12:50～14:20 第5会場（広島市文化交流会館 銀河A）

- [J36] 発達障害者のウェルビーイングを高め社会参加を支えるための連携支援の在り方
企画者、司会者：宇野 京子¹
話題提供者：新堀 和子¹、小林 隆司³、前原 和明⁴
指定討論者：松為 信雄^{2, 5}
(1. 一般社団法人 職業リハビリテーション・カウンセリング協会、2. 一般社団法人 職業リハビリテーション・カウンセリング協会、3. 兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科、4. 秋田大学 教育文化学部、5. 神奈川県立保健福祉大学 名誉教授)

2023年10月9日（月） 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

【J】 自主シンポジウム37

9:00～10:30 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

- [J37] アセスメントのポイント（勘所）を他の支援者と共有する際にできる工夫とは？
～「チーム学校」時代の連携のあり方について考える～
企画者、司会者：米内山 康嵩¹
話題提供者：桂野 文良²、吉野 さやか³
指定討論者：室橋 春光⁴
(1. 千歳市教育委員会学校教育課、2. 小樽市立稲穂小学校、3. 泊村立泊中学校、4. 北海道大学名誉教授)

【J】 自主シンポジウム38

10:55～12:25 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

- [J38] 高校通級における論理力等の指導プログラムの実践と効果分析
都立高等学校通級における外部事業者との連携指導の取り組み
企画者、司会者、話題提供者：齊藤 宇開¹
企画者：篁 倫子^{2, 5}
話題提供者：綱川 貴²、池野 弘恵³、石田 太陽³
指定討論者：月森 久江⁴
(1. たすく株式会社、2. TASUC株式会社、3. 東京都立三宅高等学校、4. 東京都杉並区立済美教育センター、5. お茶の水女子大学)

[J] 自主シンポジウム39

12:50～14:20 第6会場（広島市文化交流会館 銀河B）

[J39] ライフステージ移行期にある青年期の発達障害児者にとっての課題と支援

中学、高校、大学、そして社会へ

企画者、司会者、話題提供者：末吉 彩香¹

話題提供者：長山 慎太郎²、藤川 徹³

指定討論者：近藤 武夫⁴

（1. 筑波大学人間系／ヒューマンエンパワーメント推進局、2. 筑波大学附属大塚特別支援学校、3. 株式会社Kaizen、4. 東京大学先端科学技術センター）

2023年10月9日（月） 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J] 自主シンポジウム40

9:00～10:30 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J40] 学校や家庭は医療とどのように連携・協働すべきか

薬の知識、医療受診の基準、医療サポート、保護者説得

企画者、司会者：三浦 光哉¹

企画者、指定討論者：原田 剛志²

話題提供者：川村 修弘³、星川 裕美⁴、山口 純枝⁵

（1. 山形大学、2. パークサイドこころの発達クリニック、3. 宮城県岩沼市立岩沼西小学校、4. 山形県尾花沢市立尾花沢中学校、5. 名古屋市立西特別支援学校）

[J] 自主シンポジウム41

10:55～12:25 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J41] コミュニケーションと環境適応の難しさに対する幼児期から学齢期までの介入と結果

ライフステージに応じた支援について考える

企画者、話題提供者：加藤 希歩¹

話題提供者：早川 智子^{2,1}、川崎 勇輝^{1,3}

指定討論者：玉村 総枝¹

司会者：岩見 美香¹

企画者：家森 百合子¹

（1. 医療法人家森クリニック、2. マナビズムSPEAKIN'、3. 社会福祉法人 平安養育院 つるの家）

【J】 自主シンポジウム42

12:50～14:20 第7会場（広島市文化交流会館 十字星）

[J42] それぞれのライフステージから見た合理的配慮とは

～切れ目のない配慮をスムーズに提供するには～

企画者：安永 正則¹

司会者：楠 敬太¹

話題提供者：堀田 千絵²、副島 勇夫³、望月 直人¹

指定討論者：池谷 航介⁴

（1. 大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター、2. 京都市立芸術大学 美術学部〈共通教育 教職課程〉、3. 大阪府立柴島高等学校、4. 岡山大学 教育推進機構）

2023年10月9日（月） 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

【J】 自主シンポジウム43

9:00～10:30 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

[J43] 「障害の社会モデル」の視点からの「自己理解」再考

大学での発達障害学生支援における診断、アセスメント、伴走型支援、ピア活動と「自己理解」

企画者：番園 寛也¹

司会者：山科 満²

話題提供者：菊地 創³、石川 千佳子⁴、高口 僚太郎⁵

指定討論者：村山 光子⁶

（1. 中央大学ダイバーシティセンター、2. 中央大学文学部、3. 松蔭大学コミュニケーション文化学部、4. 中央大学法学部、5. 長岡技術科学大学、6. 明星大学発達支援研究センター）

【J】 自主シンポジウム44

10:55～12:25 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

[J44] 「ことばのつまずき」の見立てと発達支援

—教育・医療・家庭の連携と協働—

企画者：石川 豊和¹

司会者：水野 達哉²

話題提供者：東俣 淳子³、長谷川 圭子⁴、武田 綾香⁵

指定討論者：相原 喜子⁶、田中 良三⁷

（1. 名古屋市立猪子石小学校、2. 江南市立藤里小学校、3. 豊田市こども発達センター、4. 名古屋市立旭丘小学校、5. 名古屋市立日比津小学校、6. 愛知学院大学短期大学部、7. 愛知県立大学名誉教授）

[J] 自主シンポジウム45

12:50～14:20 第8会場（広島市文化交流会館 ルミエール）

[J45] PASS 神経認知モデルに基づく評価と支援の新たな方向性

これまでの研究と実践から

企画者、司会者、指定討論者：岡崎 慎治¹

話題提供者：青木 真純²、松淵 由佳子³、松尾 奈美⁴

指定討論者：中山 健⁵

（1. 筑波大学、2. 東京学芸大学、3. 元筑波大学大学院、4. 島根大学、5. 福岡教育大学）

2023年10月9日（月） 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

[J] 自主シンポジウム46

9:00～10:30 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

[J46] 「卒業後の人生につなげる〇〇のユニバーサルデザイン」

～支援を広げるために〇〇を埋めるのはあなた!!～

企画者、司会者：亀山 史子¹

話題提供者：長船 ゆかり²、植 えり³、松井 宏樹⁴

指定討論者：小栗 正幸⁵

（1. 寺子屋悟空株式会社 元特別支援学校、2. 公立中学校、3. 特別支援学校、4. 栗東市発達支援課、5. 特別支援教育ネット）

[J] 自主シンポジウム47

10:55～12:25 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

[J47] 「読み書き」に困難をかかえる子どもの家庭支援と園や学校での支援

—当事者の親・そして支援者の立場でできることを考える—

企画者、司会者、話題提供者：片岡 茂¹

話題提供者：片岡 美津枝²、野村 千香子³、大島 みつよ⁴

指定討論者：河野 俊宏⁵

（1. 愛知県立佐織特別支援学校、2. 愛知県立港特別支援学校、3. 株式会社アベイユ、4. 名古屋学芸大学、5. 北陸大学）

[J] 自主シンポジウム48

12:50～14:20 第9会場（広島市文化交流会館 プロヴァンス）

[J48] 「幼児期からの聴覚学習」（6）

幼児期・学齢期の「読み」の力につなげる指導方法について

企画者、話題提供者：大島 光代¹

企画者、指定討論者：藤本 裕人²

話題提供者：伊藤 琴恵¹、鶴田 敦司²

司会者、話題提供者：鎌田 ルリ子³

（1. 名古屋学芸大学、2. 帝京平成大学、3. 筑波大学附属聴覚特別支援学校）

2023年10月8日（日）～10月9日（月） 第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP] 広報委員会 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP01] 「LD学会員がより繋がり合えるために」広報委員会による取り組み

～会報のWEB化・ホームページのリニューアル・SNS発信～

岡野 由美子、菊池 哲平、増本 利信

（広報委員会）

[CPP] 全国LD親の会企画 ポスター展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP02] 各地の親の会 活動紹介

理解啓発活動・子どもたちや家族への支援活動

○井上 育世

（NPO法人全国LD親の会）

[CPP] LD-SKAIP委員会 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP03] LD-SKAIP委員会 活動報告

[CPP] 国立特別支援教育総合研究所 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP04] 国立特別支援教育総合研究所 活動報告

[CPP] 2023ディスレクシア啓発月間実行委員会 企画展示

第10会場（広島国際会議場 サクラ）

[CPP05] 2023ディスレクシア啓発月間実行委員会 展示

2023年10月9日（月）ポスター会場

[P] ポスター発表 P09：LD以外の発達障害（ASD・ADHD・DCD等）

10:00～10:30 ポスター会場

- [P09-1] 不適応行動を示す自閉スペクトラム症児を対象とした情動調整に関するSSTの効果
○岩本 佳世、鈴木 伸子、飯塚 一裕、吉岡 恒生
(愛知教育大学)
- [P09-2] 通所支援事業所の継続利用により社会性及び認知機能の改善を認めた一症例
○小玉 武志^{1,2,3}
(1. 北海道済生会みどりの里、2. 発達支援事業所 きっずてらす、3. NPO法人 カケルとミチル)
- [P09-3] 生後18か月の気質と児童期のASD・ADHDとの関連
○津久井 伸明^{1,2,3}、土屋 賢治^{1,2}
(1. 大阪大学大学院連合小児発達学研究所、2. 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、3. 公益社団法人子どもの発達科学研究所)
- [P09-4] 2E者の学齢期からの社会・情緒的な困難と向き合うプロセス
—成人へのインタビューを通して—
○熊谷 歩南¹、小倉 正義²
(1. 兵庫教育大学大学院、2. 鳴門教育大学)
- [P09-5] 知的障害のある自閉症の児童に対する言葉の指導に関する研究
—「語連鎖・統語」期から「語操作・談話」期への指導—
○阿部 敬信¹、秋山 絵理²
(1. 九州産業大学、2. 福岡県立田主丸特別支援学校)
- [P09-6] 自閉症児が自らの気持ちや考えを言葉で表現することができる授業づくり
言葉による表現の幅を広げる教材の工夫
○中井 健人
(広島県立呉特別支援学校江能分級)
- [P09-7] 自閉症スペクトラム障害を有する子どもの心を育てる（2）
ASD児の心のバリアをはずす
○樋口 和彦¹、渡邊 正人²
(1. 広島修道大学、2. 鳥取大学)

[P] ポスター発表 P10：ICT活用

10:50～11:20 ポスター会場

- [P10-1] GIGAスクール構想で実現した1人1台端末によるLD児のノートテイクの変容過程
デジタルノートアプリ「OneNote」を用いた2年間のノート方略の成長
○菊地 麻衣子^{1,2}、内田 佳那^{3,4}、丹治 敬之⁵
(1. 子どもの成長を支援する保護者の会LD分科会千代田DD、2. 学び方が違う子の親の会ルピナス、
3. 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科、4. 日本学術振興会、5. 岡山大学学術研究院教育学域)
- [P10-2] デジタルツインによる動画教材の開発と試行的実践
-知的障害がある児童を対象として-
○立石 カ斗^{1,3}、小川 拓郎²、宮本 聡²、梅崎 真理子³
(1. 近畿大学九州短期大学、2. 九州大学、3. 九州大学大学院人間環境学府)
- [P10-3] 読み書きに困難がある児童へのタブレット活用の実践例
～小学校から中学校にかけての経過も踏まえて～
○竹下 盛¹、栗本 奈緒子¹、水田 めくみ¹、奥村 智人¹、西岡 有香¹、若宮 英司²、竹田 契一¹
(1. 大阪医科薬科大学LDセンター、2. 藍野大学医療保健学部看護学科)
- [P10-4] 特別支援学級と通常の学級の児童における双方向の関係をめざした交流
タブレット端末による「ミュージックビデオ」制作の実践より
○横山 由季^{1,2}、長山 弘³
(1. 広島大学附属東雲小学校、2. 広島大学、3. 盛岡大学)
- [P10-5] GIGA スクール構想の端末における小中学生のタイピング速度の変化
～ローマ字とタイピングの関係～
○村田 美和¹、石原 敬久²
(1. 高崎健康福祉大学、2. 高崎市教育委員会)
- [P10-6] 読み書きに困難のある児童生徒への「機能代替アプローチによるタブレットPC活用」理解啓
発研修コンテンツの開発
○森山 貴史
(青森県総合学校教育センター)

[P] ポスター発表 P10：インクルーシブ教育

10:50～11:20 ポスター会場

- [P10-7] 異年齢学級におけるインクルーシブ教育の実現
－ Thinking at the Edge による振り返りを通して－
○海老澤 佳輝
(日本女子大学附属豊明小学校)

[P10-8] スウェーデンにおける多様な子どもを前提としたインクルーシブ教育
ギフトド対応を含む特別ニーズ教育の保障
○是永 かな子
(高知大学)

[P10-9] 知的障害特別支援学級に在籍する児童へのインクルーシブ体育の実践
—視覚支援を用いた段階的な8の字大縄跳びの指導の効果—
○齊藤 嵩之¹、宮崎 光明²
(1. 富山大学教育学部附属小学校、2. 富山大学教育学部)

[P] ポスター発表 P11：支援体制（校内・地域等）の構築

11:40～12:10 ポスター会場

[P11-1] 通常の学校における作業療法士の校内支援活用プログラムの検討
○山下 公司¹、池田 千紗¹、岩淵 友美²
(1. 北海道教育大学札幌校、2. 札幌市立南月寒小学校)

[P11-2] 通常の学級担任教員に求められる小児期発生の流暢性障害の生徒への配慮と支援
中学校、高等学校段階に焦点をあてて
○川崎 知巳^{1,2}
(1. 千葉商科大学 (CUC)、2. 筑波大学心理・発達教育相談室)

[P11-3] 特別支援学校のコーディネーターとスクールカウンセラーとの連携プロセス
○園原 慎二¹、飯田 順子²
(1. 埼玉県立草加かがやき特別支援学校、2. 筑波大学人間系)

[P11-4] 発達障害のある子どもが在籍する通常学級への授業コンサルテーションの実態と課題
—コンサルティを対象とした質問紙調査から—
○長山 慎太郎¹、岩山 カイナ^{2,3}、米沢谷 将^{4,5}、柘植 雅義⁶
(1. 筑波大学附属大塚特別支援学校、2. 大阪府立住之江支援学校、3. 広島大学大学院、4. さいたま市立ひまわり特別支援学校、5. 兵庫教育大学大学院、6. 筑波大学)

[P11-5] 読みに困難がある児童に対する校内支援の実践
MIM-PMアセスメントを用いた検討
○堀越 真紀子
(鳥取県南部町立西伯小学校)

[P11-6] ポジティブ行動支援に対する教員の態度に関する研究
○澤田 佳恵¹、小倉 正義²
(1. 和歌山県立きのかわ支援学校、2. 鳴門教育大学)

- [P11-7] 尼崎市版特別支援教育コーディネーターハンドブックの作成と展望
尼崎型インクルーシブ教育システムの構築を目指して
東田 直久
(尼崎市立武庫東小学校)
- [P11-8] 「発達状況シート」を利用した就学支援相談についての報告
保育カウンセラー^{*1}の業務を通して開発した「発達状況シート」を就学支援委員会で利用することで、適正な就学支援が可能になった経過報告
○松村 千里^{1,2}、平谷 美智夫¹
(1. 平谷こども発達クリニック、2. 大野市児童デイサービスセンターくれよん教室)
- [P11-9] 自校で通級指導を受ける児童生徒等への養護教諭の個別支援の現状と課題
—小・中学校の養護教諭に対する質問紙調査から—
○留目 宏美¹、岩本 佳世²、藤井 和子¹
(1. 上越教育大学、2. 愛知教育大学)
- [P11-10] 多様な学びを支える私立中学高等学校における個別の指導計画の実践
—IEP作成運用システム「ステラプラン」の活用—
○宮崎 悦子¹、西永 堅²
(1. 学校法人星槎 星槎中学高等学校、2. 星槎大学大学院教育学研究科)

[P] ポスター発表 P12：ユニバーサルデザイン

12:30～13:00 ポスター会場

- [P12-1] 特別支援教育の専門性を教員全体のUD意識の向上につなげる校内体制の構築
特別支援教育担当グループからの取組による教員のUD意識の変化
○寺尾 祥訓
(静岡市特別支援教育センター)
- [P12-2] 算数授業の理解を高めるユニバーサルデザイン授業づくり研究
—教科書の専門性と特別支援教育の観点の両方を記載する指導案フォーマットを用いて—
○高橋 瑞輝、鈴木 恵太
(岩手大学)
- [P12-3] 学習に困難のある高校生への意欲・自信を持たせる学習支援
～「学びのユニバーサルデザイン」をベースにしたスモールステップでのカリキュラム構築～
○岡 修¹、芹澤 健二¹、川俣 智路²
(1. 東京共育学園高等部、2. 北海道教育大学)

[P] ポスター発表 P12：福祉

12:30～13:00 ポスター会場

- [P12-4] 放課後等デイサービスにおけるソーシャルスキルトレーニングの成果
～友達と誘い合い遊ぶことができるようになった事例を通して～
○鋒山 智子、中井 沙織
(花ノ木医療福祉センター児童発達支援センター)
- [P12-5] 文字習得の意欲を支える活動
○津崎 智代、松本 真寿美
(社会福祉法人花ノ木 花ノ木医療福祉センター)
- [P12-6] 社会福祉施設を利用する気になる子どもの実態把握
自傷・他害行動、友だちとの関わり方に焦点を当てて
○永富 大輔¹、茶園 美里²
(1. 鹿児島国際大学福祉社会学部、2. 鹿児島国際大学福祉社会学研究科)

[P] ポスター発表 P13：保護者・きょうだい等家族支援

13:20～13:50 ポスター会場

- [P13-1] 思春期の不登校の子どもを抱える保護者への支援プログラム
テキストマイニングによる継次的変化
○高橋 靖子¹、松本 有貴²、南谷 則子³
(1. 愛知教育大学、2. 徳島文理大学、3. 千葉大学)
- [P13-2] 神経発達症を抱える不登校児の保護者が求める社会的リソースの分析
保護者のインタビューから
○小林 克巳¹、榎本 拓哉²
(1. 東海学院大学大学院、2. 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 社会総合科学域人間科学系)
- [P13-3] 自閉スペクトラム症児を養育する母親の障害認識の変容過程
—養育レジリエンスの観点から—
○永田 真吾¹、大出 千夏²
(1. 山梨大学、2. 栃木県立国分寺特別支援学校)

[P] ポスター発表 P13：研修・専門性の維持向上

13:20～13:50 ポスター会場

- [P13-4] 特別支援学校の特別支援教育コーディネーターの資質向上研修プログラムの検討
ワークショップ型研修「特別支援学校のコーディネーターは、こうでない！」の実践から
○田中 雅子
(北海道教育大学)

- [P13-5] UDLガイドラインを参考にした授業改善をめざす研修の実装
福岡UDL実践研究会での研修の成果と課題
○納富 恵子¹、西山 久子²
(1. 下関市立大学、2. 福岡教育大学)

[P] ポスター発表 P13：その他（SST）

13:20～13:50 ポスター会場

- [P13-6] 社会性、コミュニケーションに課題のある子ども達への小集団リハビリ導入の試み
～年齢、特性に合わせた年間プログラムを用い、多職種協働で～
○中村 純子^{1,2}、岩井 有香^{1,2}
(1. 東浦平成病院、2. リハビリテーション科)

[P] ポスター発表 P13：その他（学生（中学・高校・大学等）の支援）

13:20～13:50 ポスター会場

- [P13-7] 発達障害やその傾向のある中高大学生に対するオンラインSSTにおけるストレスコーピングを
テーマとしたグループワークの取り組み
○加藤 幹人^{1,3}、飯塚 朱里^{1,3}、小田原 真弓^{1,3}、佐藤 七瀬⁴、佐藤 亮太郎^{1,3}、横田 里子^{1,3}、
熊谷 恵子^{2,3}
(1. 筑波大学人間総合科学学術院、2. 筑波大学人間系、3. 筑波大学心理・発達教育相談室、4. 桜花学園
大学保育学部)

[P] ポスター発表 P13：その他（通級による指導）

13:20～13:50 ポスター会場

- [P13-8] 通級指導教室の新設に伴う課題や通級指導担当教員の負担に関する調査
奈良県内通級指導担当教員を対象に
○安里 健志
(大和高田市立浮孔西小学校)

2023年9月28日（木）～11月上旬 オンデマンド配信

[EL] 教育講演

オンデマンド配信

- [EL01] ゲーム障害・ネット依存の現状と治療
—学校現場との連携—
講師：樋口 進
(独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

- [EL02] ライフステージから見た保育
—学校現場とつなぐ—
講師：田中 康雄
(こころとそだちのクリニックむすびめ)
- [EL03] 発達障害の二次的・三次的障害である非行・犯罪をいかにして防ぐか
講師：榎屋 二郎
(東京医科大学 精神医学分野)
- [EL04] 感覚統合理論から子どもの発達支援を考える
子どもの豊かな学びと成長を願って
講師：土田 玲子
(NPO法人なごみの杜)
- [EL05] ICTを用いた算数困難の支援
—A single task at a time—
講師：河村 暁
(福岡教育大学)
- [EL06] 発達障害児者のきょうだい
—そのWell-Being支援の実際と課題—
講師：阿部 美穂子
(山梨県立大学)
- [EL07] 発達障害のある大学生の修学支援
—支援におけるアセスメントの重要性—
講師：高橋 知音
(信州大学)
- [EL08] 発達障害のある子どもの対応で大切にしたいこと
山の学校での勤務で改めて感じたことを通して
講師：田中 裕一
(公益財団法人兵庫県青少年本部 兵庫県立山の学校)
- [EL09] 発表取り下げ

- [EL10] 教育と福祉の連携―「トライアングル」プロジェクトからの動きとこれから―
講師：田中 尚樹
（青森県立保健大学健康科学部）
- [EL11] 多様な学びをどう支えるか
教科教育学・日本語教育学・心理学からの視点
講師：川合 紀宗、影山 和也、木下 博義、松宮 奈賀子、森田 愛子、永田 良太
（広島大学）
- [EL12] 米国のIEPはどのように作成されているのか
経験者は語る
講師：川合 紀宗
（広島大学）

[AL] 受賞者講演

オンデマンド配信

- [AL01] 発達障害児の自尊感情の支援
講師：小島 道生
（筑波大学）
- [AL02] 教育学的視点に基づくLD研究の可能性
講師：吉利 宗久
（岡山大学学術研究院教育学域）
- [AL03] 現場における実行可能な支援を目指して
講師：岡村 章司
（兵庫教育大学大学院特別支援教育専攻）

2023年9月28日（木）～11月上旬 自主シンポジウム（オンデマンド発表）

[J] 自主シンポジウム49（オンデマンド発表）

- [J49] 学校一丸となって学力を基の力から底上げ
2年生4月一大変！10の組成を理解していない子どもがいっぱい！
企画者：井阪 幸恵¹
話題提供者：奥田 望¹、園山 真理¹
指定討論者：小田 浩伸²
（1.和泉市立国府小学校、2.大阪大谷大学）

[J] 自主シンポジウム50（オンデマンド発表）

- [J50] 境界域知能の子どもの支援ニーズと教育支援について考える
特別支援教育・インクルーシブ教育における支援システムのなかで
企画者、司会者、話題提供者：橋本 創一^{1,2}
企画者、話題提供者、指定討論者：熊谷 亮^{3,2}
話題提供者：相澤 雅文^{5,2}、佐々木 俊輔⁴、石橋 晃治⁶、佐藤 翔子^{1,2}
(1. 東京学芸大学、2. 国立大学障害児教育関連センター連絡協議会、3. 宮城教育大学、4. 宮城教育大学
附属小学校、5. 京都教育大学、6. よこはま港南地域療育センター)

[J] 自主シンポジウム51（オンデマンド発表）

- [J51] 平谷こども発達クリニックにおける発達性ディスレクシア（DD）の診断と支援（その10）
—DD1000例の分析と読字検査の経年変化の検討・ICT支援の意義と指導の実践報告—
企画者、話題提供者：平谷 美智夫¹
話題提供者：原 恵子²、片山 千枝¹、吉田 高志¹、高橋 泰岳³
司会者：松浦 直己⁴
(1. 平谷こども発達クリニック、2. 上智大学言語科学研究科、3. 福井大学工学部、4. 三重大学教育学部)

[J] 自主シンポジウム52（オンデマンド発表）

- [J52] 知的障害のある子どもの対話型AI活用に向けた支援方法の検討
個の実態や障害特性に応じた教育実践を通して
企画者、司会者：山崎 智仁¹
話題提供者：樋井 一宏²、菱 真衣³、和久田 高之⁴、関口 あさか⁵、後藤 匡敬⁶
指定討論者：水内 豊和⁷、齋藤 大地⁸
(1. 旭川市立大学経済学部、2. 大阪府立西浦支援学校、3. 東京都立あきる野学園、4. 筑波大学附属桐が
丘特別支援学校、5. 埼玉県立本庄特別支援学校、6. 熊本大学教育学部附属特別支援学校、7. 島根県立大
学人間文化学部、8. 宇都宮大学共同教育学部)

[J] 自主シンポジウム53（オンデマンド発表）

- [J53] デジタル依存傾向にある青少年に対する運動意欲向上と生活時間の変化の実証実験（Sport in
Life 推進プロジェクト）の報告
大学・医療・社会教育団体の協働
企画者、司会者、話題提供者：太田 聡¹
話題提供者：笹田 哲²、三原 聡子³、田沼 美穂¹
指定討論者：樋口 進³
(1. 公益財団法人横浜YMCA、2. 神奈川県立保健福祉大学、3. 独立行政法人国立病院機構久里浜医療セ
ンター)

[J] 自主シンポジウム54（オンデマンド発表）

[J54] 都立高校における通級指導の成果と課題

都立高校と民間の協働

企画者、話題提供者：濱野 智恵¹

話題提供者：瓦田 尚²、向川 顕秀³

指定討論者：田中 容子⁴

司会者：上田 拓実¹

（1. 株式会社Grow-S、2. 東京都立荻窪高等学校、3. 東京都立飛鳥高等学校定時制課程、4. 三鷹市教育委員会）

[J] 自主シンポジウム55（オンデマンド発表）

[J55] 読みが苦手な子に語彙指導は必要か？

企画者、司会者、話題提供者：奥村 智人¹

話題提供者：水田 めくみ²、栗本 奈緒子²

指定討論者：福井 美保^{3, 2}

（1. 大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所、2. 大阪医科薬科大学LDセンター、3. 大阪大谷大学教育学部）

[J] 自主シンポジウム56（オンデマンド発表）

[J56] 高校通級における「対象生徒のニーズ把握」の課題

通級担当者は生徒の「何」を把握しているのか

企画者、話題提供者：田中 智樹¹

司会者、話題提供者：白井 俊介²

企画者、話題提供者：武田 博子³

話題提供者：松原 一恵⁴

指定討論者：井上 秀和⁵

（1. 岐阜県立西濃高等特別支援学校、2. 兵庫県立西宮香風高等学校、3. 相愛大学学生相談室、4. 池田市立呉服小学校、5. 国立特別支援教育総合研究所）